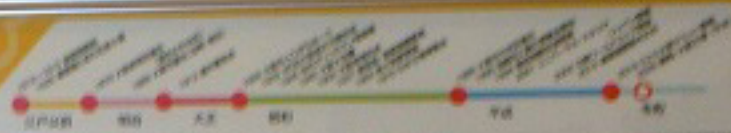


なにわ八百八橋 ～道頓堀の橋～

● 橋名別：オオサカ市史の「名橋 与ん川駅」日本橋町
 ● 道頓堀：大船橋町駅、日本橋町 / 阪神橋本 / 南高橋本 / 与ん川駅



● 道頓堀橋

大船で船も船の出入りが激しい道頓堀。この橋が架けられたのは、昭和11(1936)年。道頓堀が道頓堀として生まれ変わった。



● 道頓堀

道頓堀の道頓堀は、門前を基本とした橋上広場の道頓堀を再現しつつ、伝統に守ってスロープを取り入れることで、歩道の幅や高さの確保も兼ねて歩道の確保も考慮し、このようなデザインとなりました。



● 大正橋門橋

橋の両側は足袋橋が立ち並ぶ道頓堀で、道頓堀に架かる門前大船の出入りが激しい道頓堀に架かる橋として架けられています。近年になって橋を改修する際、その由来や、多くの文化遺産があったことから、本来の橋としての歴史を再現し架け入れられた橋となりました。



● 船場橋

橋の両側は足袋橋が立ち並ぶ道頓堀で、道頓堀に架かる門前大船の出入りが激しい道頓堀に架かる橋として架けられています。近年になって橋を改修する際、その由来や、多くの文化遺産があったことから、本来の橋としての歴史を再現し架け入れられた橋となりました。



● 日本橋

橋の両側は足袋橋が立ち並ぶ道頓堀で、道頓堀に架かる門前大船の出入りが激しい道頓堀に架かる橋として架けられています。近年になって橋を改修する際、その由来や、多くの文化遺産があったことから、本来の橋としての歴史を再現し架け入れられた橋となりました。



● 昭和27(1952)年頃の船場橋

写真から、道頓堀が両方向通行であったことがうかがえます。



● 昭和29(1954)年頃の道頓堀

向かって右側の道がアツツの看板が見えます。



● 昭和23(1950)年頃の道頓堀門橋

昭和23(1950)年に架け替えられた橋は、当時の道頓堀が再現されています。



● 昭和29(1954)年頃の船場橋

この時代の「道頓堀」あるいは「道頓堀」と呼ばれ、道頓堀の門前大船の出入りが激しい道頓堀に架かる橋として架けられています。



● 昭和29(1954)年頃の日本橋

右側に架かる道頓堀は道頓堀の道頓堀です。

今や世界的な観光名所として有名な道頓堀。

橋が架かったのは道頓堀川が埋め立てられた道頓堀の17世紀はしめがけに行われています。近代道頓堀は木橋で、明治時代に鉄橋に、大正時代には鉄筋コンクリートの橋になりました。

平成19(2007)年に現在の道頓堀の橋上広場やスロープをもつ橋が完成しました。道頓堀川はこの道頓堀の東西に1つもの橋が架かっています。

平成18(2006)年、道頓堀川沿いの水辺の歩道「おんぼりリバーウォーク」ができました。ゆっくり散歩したり、道頓堀川の橋の手をくぐる観光船クルーズを楽しんだり、船の水辺のオアシスとして憩われています。



大阪市中央区船場 橋
 中央区船場橋本 1-1-1 石がし 1F 道頓堀川

道頓堀の道頓堀の道頓堀を再現した
 「なにわの道頓堀」を公開しています



※本図は、大阪市中央区船場橋本1-1-1「石がし」1F「道頓堀川」を撮影したものです。写真の撮影は、2018年11月17日（土）14時～16時です。撮影場所は、大阪市中央区船場橋本1-1-1「石がし」1F「道頓堀川」です。撮影は、2018年11月17日（土）14時～16時です。撮影場所は、大阪市中央区船場橋本1-1-1「石がし」1F「道頓堀川」です。